

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2011年11月9日
【四半期会計期間】	第41期第2四半期（自 2011年7月1日 至 2011年9月30日）
【会社名】	株式会社サンデーサン
【英訳名】	Sunday's Sun INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 國樹
【本店の所在の場所】	東京都港区港南2丁目18番1号
【電話番号】	（03）6833 - 8833
【事務連絡者氏名】	管理部 部長 戸田 慎也
【最寄りの連絡場所】	東京都港区港南2丁目18番1号
【電話番号】	（03）6833 - 8833
【事務連絡者氏名】	管理部 部長 戸田 慎也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期 累計期間	第41期 第2四半期 累計期間	第40期
会計期間	自 2010年4月1日 至 2010年9月30日	自 2011年4月1日 至 2011年9月30日	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日
売上高 (千円)	8,653,808	8,783,083	16,862,240
経常利益 (千円)	130,054	423,633	154,567
四半期純利益又は当期純損失 () (千円)	40,971	374,928	804,955
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,958,080	2,958,080	2,958,080
発行済株式総数 (千株)	16,114	16,114	16,114
純資産額 (千円)	3,732,690	3,265,533	2,884,677
総資産額 (千円)	13,668,325	12,482,872	13,167,231
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額 () (円)	2.55	23.38	50.19
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	27.3	26.2	21.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	571,685	744,095	1,053,387
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	253,317	199,551	512,053
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	176,586	1,218,642	439,676
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	710,994	522,950	1,197,049

回次	第40期 第2四半期 会計期間	第41期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 2010年7月1日 至 2010年9月30日	自 2011年7月1日 至 2011年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.49	16.10

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 第41期第2四半期累計期間及び第40期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第40期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

1. 経営成績の分析

当第2四半期累計期間（2011年4月1日から2011年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災において影響を受けたサプライチェーン、社会インフラの復旧や、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加、雇用の改善もあり景気は緩やかな回復基調となりました。その一方で欧州の財政不安や米国経済の停滞懸念を背景とした世界的な株安、金融不安が長期化しており、事業環境の先行きについては不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、東日本大震災の影響で、計画停電の実施及び消費マインドの低下が懸念されましたが、牛丼をはじめとしたファストフード業態は堅調に推移し、ファミリーレストラン業態も持ち直しの動きが見られております。しかしながら、8月・9月と大型台風が相次いだことや、焼肉業態の落ち込み等もあり、外食産業全体としては、十分な回復まで至らず、依然、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社は、「おいしい料理」「心のこもったサービス」「清潔なお店」で、お客様に満足していただくことを基本に、「アメニティレストラン＝居心地の良いレストラン」づくりに全力で取り組んでまいりました。

主力業態であるジョリーパスタにおきましては、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、自社で製造するトマトソースなどのベーシックなパスタソースに更なる改良を加えフレッシュ感を高めるとともに、ポン酢ベースの新しい和風パスタや季節感溢れるメニューの導入などで、一層のおいしさを追求してまいりました。

また、テレビコマーシャルの放映など、より大きな効果が見込まれる販売促進にも積極的に取り組み、売上高の拡大と費用の有効活用を図ってまいりました。更に、生産性コントロールによる人件費率の改善やその他販管費の見直しなども徹底して行った結果、当第2四半期累計期間の既存店売上高は、前年同期比101.9%とほぼ予想通りに推移し、利益におきましては前年同期と比較して大幅に改善いたしました。

当第2四半期会計期間末の店舗数につきましては、フラカッソ業態2店舗をグループに承継した結果、ジョリーパスタ業態218店舗、フラカッソ業態23店舗、その他業態6店舗の合計247店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高87億83百万円（前年同期比 1.5%増）、営業利益4億51百万円（同 2.9倍）、経常利益4億23百万円（同 3.3倍）、四半期純利益3億74百万円（同 9.2倍）となりました。

2. 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して、現金及び預金の減少5億88百万円、有形固定資産の増加79百万円及び敷金・差入保証金の減少1億15百万円等により、124億82百万円となりました。

負債は、前事業年度末と比較して、借入金の減少10億40百万円等により、92億17百万円となりました。

純資産は、前事業年度末と比較して、四半期純利益3億74百万円等により、32億65百万円となりました。

3. キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は5億22百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は7億44百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益4億29百万円を計上したこと及び減価償却費3億75百万円によるものであり、前第2四半期累計期間に比べ1億72百万円の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は1億99百万円となりました。これは主に有形、無形固定資産の取得による支出2億61百万円によるものであり、前第2四半期累計期間に比べ53百万円の支出の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は12億18百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出10億40百万円によるものであり、前第2四半期累計期間に比べ13億95百万円の支出の増加となりました。

4．事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

5．研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,000,000
計	45,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2011年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2011年11月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,114,000	16,114,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は100株
計	16,114,000	16,114,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2011年7月1日～ 2011年9月30日	-	16,114,000	-	2,958,080	-	330,768

(6)【大株主の状況】

2011年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社ゼンショー	東京都港区港南2-18-1	10,351	64.23
トヨタカローラ山口株式会社	山口県周南市新地1-6-1	544	3.37
株式会社山口銀行	山口県下関市竹崎町4-2-36	395	2.45
株式会社中国銀行	岡山県岡山市北区丸の内1-15-20	259	1.60
日本興亜損害保険株式会社	東京都千代田区霞ヶ関3-7-3	241	1.49
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1-23-1	180	1.11
サントリーピア&スピリッツ株式会社	東京都港区台場2-3-3	179	1.11
サンデーサン社員持株会	東京都港区港南2-18-1	175	1.08
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	東京都渋谷区恵比寿1-28-1	135	0.83
株式会社白菱	広島県広島市西区井口5-31-4	101	0.62
計	—	12,562	77.89

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

2011年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 75,300	-	権利内容に何ら限定のない当社 における標準となる株式

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
完全議決権株式（その他）	普通株式 16,038,000	160,380	同上
単元未満株式	普通株式 700	-	同上
発行済株式総数	16,114,000	-	-
総株主の議決権	-	160,380	-

（注）単元未満株式数には、当社所有の自己株式32株が含まれております。

【自己株式等】

2011年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 （株）	他人名義 所有株式数 （株）	所有株式数 の合計 （株）	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 （％）
（自己保有株式） 株式会社 サンデーサン	東京都港区港南 2 - 18 - 1	75,300	-	75,300	0.46
計	-	75,300	-	75,300	0.46

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2011年7月1日から2011年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2011年4月1日から2011年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2011年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2011年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,071,260	482,979
売掛金	90,177	94,801
商品及び製品	57,517	45,175
原材料及び貯蔵品	126,270	144,491
その他	726,847	686,984
貸倒引当金	376	369
流動資産合計	2,071,696	1,454,062
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,659,752	2,733,879
土地	2,986,997	2,986,997
その他（純額）	1,715,424	1,720,713
有形固定資産合計	7,362,174	7,441,590
無形固定資産	145,593	114,346
投資その他の資産		
敷金	2,166,259	2,149,217
その他	1,421,507	1,323,655
投資その他の資産合計	3,587,766	3,472,872
固定資産合計	11,095,534	11,028,810
資産合計	13,167,231	12,482,872
負債の部		
流動負債		
買掛金	440,010	445,984
1年内返済予定の長期借入金	1,980,000	1,775,000
未払金	180,797	305,218
未払費用	524,723	436,964
未払法人税等	129,052	76,779
賞与引当金	89,984	115,674
その他	451,797	474,183
流動負債合計	3,796,366	3,629,805
固定負債		
長期借入金	5,507,500	4,672,500
資産除去債務	71,893	72,728
その他	906,794	842,305
固定負債合計	6,486,188	5,587,533
負債合計	10,282,554	9,217,339

(単位：千円)

	前事業年度 (2011年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (2011年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,958,080	2,958,080
資本剰余金	330,768	330,768
利益剰余金	357,817	17,110
自己株式	44,387	44,417
株主資本合計	2,886,643	3,261,540
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,965	3,992
評価・換算差額等合計	1,965	3,992
純資産合計	2,884,677	3,265,533
負債純資産合計	13,167,231	12,482,872

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
売上高	8,653,808	8,783,083
売上原価	2,571,935	2,652,890
売上総利益	6,081,872	6,130,193
販売費及び一般管理費	₁ 5,928,240	₁ 5,679,121
営業利益	153,631	451,072
営業外収益		
受取利息	9,079	8,353
受取配当金	2,713	2,686
貸貸収入	80,976	72,683
貸倒引当金戻入額	-	7
その他	3,985	2,578
営業外収益合計	96,755	86,309
営業外費用		
支払利息	58,117	65,887
貸貸収入原価	60,251	47,294
その他	1,963	565
営業外費用合計	120,332	113,747
経常利益	130,054	423,633
特別利益		
投資有価証券売却益	4,843	-
会員権売却益	-	6,550
その他	-	315
特別利益合計	4,843	6,865
特別損失		
固定資産除却損	-	1,004
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,932	-
その他	863	-
特別損失合計	39,796	1,004
税引前四半期純利益	95,101	429,494
法人税、住民税及び事業税	54,322	54,566
法人税等調整額	192	-
法人税等合計	54,130	54,566
四半期純利益	40,971	374,928

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	95,101	429,494
減価償却費	347,450	375,445
貸倒引当金の増減額（は減少）	540	7
賞与引当金の増減額（は減少）	5,470	25,689
有形及び無形固定資産除却損	-	870
受取利息及び受取配当金	11,793	11,040
支払利息	58,117	65,887
投資有価証券売却損益（は益）	4,843	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,932	-
売上債権の増減額（は増加）	5,574	4,624
たな卸資産の増減額（は増加）	24,037	5,879
仕入債務の増減額（は減少）	10,791	5,974
未払人件費の増減額（は減少）	-	25,070
未払消費税等の増減額（は減少）	65,422	9,427
その他	145,761	68,039
小計	731,408	915,353
利息及び配当金の受取額	2,834	3,083
利息の支払額	53,953	65,770
法人税等の支払額	108,604	108,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	571,685	744,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	255,431	261,781
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	45,258
投資有価証券の取得による支出	67	70
投資有価証券の売却による収入	4,843	-
敷金及び保証金の差入による支出	1,539	9
敷金及び保証金の回収による収入	378	17,051
その他	1,500	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	253,317	199,551
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	486,939	-
長期借入れによる収入	1,500,000	-
長期借入金の返済による支出	681,582	1,040,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	154,892	178,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	176,586	1,218,642
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	494,955	674,098
現金及び現金同等物の期首残高	216,039	1,197,049
現金及び現金同等物の四半期末残高	710,994	522,950

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 2009年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 2009年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主なもの	1 販売費及び一般管理費の主なもの
給与及び賞与 2,213,523千円	給与及び賞与 2,127,905千円
賃借料 1,209,170千円	賃借料 1,178,127千円
賞与引当金繰入額 84,458千円	賞与引当金繰入額 106,450千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 760,994千円	現金及び預金勘定 482,979千円
預入期間が3か月を超える定期預金 50,000千円	現金同等物に含まれる関係会社短期貸付金(注) 39,971千円
現金及び現金同等物 710,994千円	現金及び現金同等物 522,950千円
	(注) 株式会社ゼンショーがグループ各社に提供するキャッシュ・マネジメント・システムによるものであります。

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期累計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期累計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

当社は、外食事業単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

当社は、外食事業単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 2010 年 4 月 1 日 至 2010 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2011 年 4 月 1 日 至 2011 年 9 月 30 日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	2 円 55 銭	23 円 38 銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	40,971	374,928
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	40,971	374,928
普通株式の期中平均株式数 (株)	16,038,746	16,038,713

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2011年11月 8 日

株式会社サンデーサン
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 仲 澤 孝 宏 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 加 藤 真 美 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンデーサンの2011年4月1日から2012年3月31日までの第41期事業年度の第2四半期会計期間（2011年7月1日から2012年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2011年4月1日から2011年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンデーサンの2011年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2011年3月31日をもって終了した前事業年度の第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間に係る四半期財務諸表並びに前事業年度の財務諸表に対して2010年11月9日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該財務諸表に対して2011年6月15日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2．四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。